

令和4年度 学校評価アンケート結果報告

学校評価検討委員会

令和4年11月24日～12月8日に学校評価アンケートを実施しました。アンケートの結果及び考察について以下の通り集約しましたので、ご報告いたします。(回答率;保護者55%、教職員86%)

全体的に、保護者・教職員とも「A そう思う」と「B ややそう思う」の回答が大半を占めていました。肯定的な回答(A+B)が90%未満の項目と主だった自由記述については以下の通りです。

1 保護者による学校評価アンケート

項目	肯定的回答 (A+B)	否定的回答 (C+D)	わからない (E)
1 本校におけるICT教育について、担任間で共有を図り、児童生徒に即した実践及び支援が行われている。	82.7%	13.9%	3.4%
6 他校(港南台二小や山手学院)との交流や作業班による野菜や物品の販売などにより、地域との交流がはかられている。	85.2%	12.2%	2.6%
9 心と体の学習(性教育)の実施にあたり行ったアンケートは、家庭のニーズを確認する内容になっている。	84.4%	9.8%	5.8%

2 教職員による学校評価アンケート

項目	肯定的回答 (A+B)	否定的回答 (C+D)	わからない (E)
4 食事や運動を通し、生活習慣病の予防となる健康管理に取り組んでいる。	88.5%	11.5%	0%
9 研究授業の改編より、協議会を通じて授業に関するアイデアが増えたり、児童生徒の行動を多角的に見るきっかけとなったりすることで、授業力や観察力の向上に繋がった。	86.9%	13.1%	0%
15 心と体の学習(性教育)の実施にあたり行ったアンケートは、学年のニーズを確認する内容になっている。	87.7%	12.3%	0%

集計結果からの考察

○保護者アンケートより

「あまりそう思わない」と回答された割合が、項目1では17名(13.9%)、項目6では15名(12.2%)、項目9では、12名(9.8%)と他の項目に比べ多かったことが特徴的でした。

項目1については、

ICTの活用については、授業の中で児童生徒が実際に使用して授業を展開する実践も行われています。今年度も引き続き校内研修を中心に、ICT教育の実践例や実践活動を共有することで、児童生徒にとって学びが深まる支援方法の構築に努めます。

項目6については、

高等部作業学習を中心に、地域社会活動の一環で行っているハマロードや港南台駅前のタウンカフェへの出品、野菜の無人販売など、地域との繋がりを目指した活動に取り組みました。また、港南台二小と作品交流、山手学院吹奏楽部の演奏会など各学部で交流を図りました。今後は、感染症の状況を確認しつつ、無人販売の拡大や近隣校との交流を深められるよう取り組んでまいります。

項目9については、

心と体の学習においては、家庭で抱える悩みにも寄り添い学校生活にいかすことができるよう、アンケートを実施いたしました。ご協力ありがとうございました。今後は、各学年で児童生徒の実態に応じて、適切な内容で取り組んでまいります。

○教職員アンケートより

「あまりそう思わない」と回答された割合が、項目18では15名(12.1%)、項目21では14名(11.3%)と他の項目に比べ多かったことが特徴的でした。

項目4については、

各クラスで実践している食事や運動の取り組みを、情報収集することができました。今後は、情報共有できるようにしていきたいと考えています。

項目9については、

今年度より従来行ってきた内容を踏まえ協議会として、研修のねらいや目的を明確にして実践していきました。若手教員のみならず多くの教員が参観できるよう工夫をしてみました。ただ、課題も多くありました。今後は、より実りのある協議会になるようにしていきたいと考えています。

3 自由記述結果について

多くの保護者の皆様から自由記述にてご意見をいただきました。その中から共通する内容として、以下の点について回答させていただきます。

○地域との交流について

今年度も感染症対策を行いながら、できるだけ地域の方々と交流できる機会を設けてきました。しかしながら、以前のように活発な交流が行うことができたかという点については十分ではなかったと思います。

今後は、学校と地域が連携し、感染症対策を講じながら交流を続けていきたいと思っています。児童生徒と地域との繋がりを大切に、より深い学びの場となるように努めていきます。